

日本学術会議 基礎医学委員会/臨床医学委員会合同法医学分科会（第24期・第3回）  
議事録

日時： 平成31年2月28日（金）14:00-16:00

場所： 日本学術会議6階 6-C会議室（1）

出席者： 鮎澤純子、田中純子、中山淳、西谷陽子、橋本優子、藤田眞幸、保正友子、増田しのぶ、松本博志（敬称略、計9名）

欠席者： 木田真紀、末松 誠（敬称略、計2名）

議事：

藤田委員長から挨拶があり、今回が初回の出席となる委員が紹介された。

(1) 前議事要旨案の承認について（資料1）

藤田委員長から、前回議事録(案)が紹介されたが、修正事項の指摘はなかった。

(2) 法医学のリクルートに関わるアンケートについて

藤田委員長から、第2回分科会で出された意見をもとに改訂されたアンケート案が提示され、以下のような議論が展開された。

ア 対象

医学部6年生 アンケートが実施しやすい

初期研修医 卒業生の研修先への追跡調査と大学在籍研修医の調査がある。このうち、実施しやすいのは、後者である。

法医学在籍者 日本法医学会と連携する必要がある

元法医学在籍者 対象者に連絡を取りにくい面がある

基礎医学者

イ 実施時期

6年生の講義、国家試験や卒業試験等の説明会、卒業式、謝恩会などの機会に行う。

ウ 実施内容

アンケートの実施内容について検討され、改善点が指摘された。

エ 実施範囲

まずは、委員が所属あるいは関連する大学の医学生や大学病院の研修医で実施し、最終的には、全国の地域や、国公立・私立の別、その他を考慮し、30校程度で実施する。

オ アンケートの最終目的

医学部医学科の学生や研修医が卒業後の進路をどのような視点から決定しているかを調査し、

よりの確な進路選択につなげると同時に、法医学分野に適正の

高い優秀な人材の獲得に役立つ。

カ 実施準備

委員長の所属する大学で、アンケートを試行し、質問や選択肢等を再検討し、最終案を作成する。

(3) 今後招聘したい講師・調査すべき課題・問題点について

招聘する講師については、今後の継続検討課題とされた。

法医学の現在の問題点としては、地味な分野で業績が評価されにくい、医師の仕事としての認識が薄い、社会的な必要性が軽視されてしまっているなどの点が挙げられた。また、外国の事情について調査も有用であるかもしれないという点から、米国での臨床医として経験から、木田委員に米国の動向について調べるよう依頼している旨報告があった。

(4) その他

予算が限定されてきており、予算を削減して行う必要性について説明があった。